



8月の行事予定

8月	
1	木
2	金 第1回学校説明会 (生涯学習センター)
3	土 河合塾マーク模試③
4	日 ◆
5	月 河合塾マーク模試③
6	火 Ⅱ期課外(~8/9)
7	水
8	木
9	金
10	土 ◆
11	日 ◆山の日
12	月 ◆振替休日
13	火 ◆
14	水 ◆
15	木 ◆
16	金 ◆
17	土 ◆
18	日
19	月 Ⅲ期課外(19,20,22,23)
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土 河合塾記述模試①②(希望者)
25	日 ◆
26	月 始業式 実力テスト①②③
27	火 実力テスト③
28	水
29	木 学級役員選出
30	金 河合塾記述模試③
31	土 スタディーサポート①② 河合塾記述模試③

「夏を制する者は、受験を制す」3学年主任 加藤操

3年生にとって、進路目標実現のための大切な夏休みが始まります。いままで部活動をしていた人にとっては、この夏休みこそ、まとまった学習時間がとれ、苦手克服の最後の機会です。不安な部分は徹底的に復習して、基礎力の完成をめざしましょう。合格を勝ち取るためには、

- 1 志望校に実際足を運び、入試情報を収集し、絶対ここに入るという強い決意をする。
- 2 自分の実力・弱点をきちんと把握し、周囲に惑わされず、自分のペースで勉強する。
- 3 模擬試験や定期考査の問題を復習し、勉強の成果を確認する。

以上のようなことを考えて、夏休みを過ごしてください。

ゴールを見据え、この夏を充実した日々にししましょう。先生方は皆応援しています。

「夏休みの過ごし方」

生徒指導主事 茂原賢三

メディアでおなじみである脳科学者の茂木健一郎さんが、夏休みのあり方について以下のようにコメントしています。「夏休みの本質は“ぼんやりする”こと“ほうける”ことだと思う。ふだんとは違うことをやって“ぼーっとする”。そのことが夏休みの価値であって学期と同じようなことをやるのは夏休みの趣旨に反する。夏の間はみーんみーん、ジリジリして、新学期が始まったら“はっ”とするのがよい(抜粋) (2014年8月)。「そのとおりだ!」と思う人、「そんなの無理だ!」と云う人それぞれ賛否両論が飛び交いそうなコメントです(ぼーっとしていたら、チョコちゃんに叱られるかも…)。ただ、人間はAIとは違って生身の生き物ですから“ぼんやりする” “ほうける “ ”ぼーっとする “時も絶対に必要なんだろうな、とも感じます。

とすると、茂木健一郎さんの言わんとすることは「夏休みは普通の授業日とは違う新鮮な気持ちで学習・部活等にきちんと計画を立て、やるべきことにはきちんと取り組んで、自分自身を磨き高めましょう。一方で、夏休みの計画の中に“癒やしになること”・“息抜き”等を上手に組み込んで、心身共にリフレッシュした状態で2学期を迎えましょう」というふうになるのではないのでしょうか。すでにきちんとした計画を立てた人は、計画の中に“癒やし” “息抜き”等が入っているかを再度点検してみてもいいかもしれません。まだ計画を立てていない人は、さっそく“癒やし “ ”息抜き “が組み込まれた計画の立案に取り組みましょう。生徒の皆さんが、有意義な夏休みを過ごしてフレッシュな心身で8月26日(月)の始業式を迎えられることを願っています。

第1回学校説明会

教務主任 高橋建次

8月2日(金)に富岡市生涯学習センターで中学生向けの学校説明会を実施します。在校生の皆さんも中学生の時に参加した記憶があるかと思います。生徒会を始め、生徒のみなさんの力を借りて富岡高校の魅力をPRする場にしたいと考えています。

また、10月5日(土)には第2回学校説明会を富岡高校で開催します。第2回学校説明会は部活動見学と施設見学を中心に行う予定です。今年度は土曜日を登校日にしてありますので、多くの生徒が中学生と触れ合う機会があります。是非、後輩たちに積極的に声をかけてください。

「生徒会長挨拶」

2年1組 長谷川陽平

生徒会長になりました、長谷川陽平です。今年度は生徒会役員全員が初役員で、昨年までの生徒会運営などはわからず、手探りの状態で活動しています。しかし、昨年までを知らないからこそ出来ることをし、生徒だからこそ気づいたことなどを活かし、今までになかった伝統を築けるように活動していきたいと考えています。生徒、先生方、地域の方々と共に、より良い富岡高校をつくり、後代に富岡高校の基盤を残します。みなさんのご協力よろしくお願いします！

全国大会出場者（部）紹介

「インターハイに向けて」

男子ハンドボール部監督 栃谷 則史

8月4日より熊本県で開催されるインターハイに向けて部員一丸となって練習に取り組んでいます。努力は決して裏切らない。最大の敵は自分である。このことを日頃の練習の課題として取り組み、試合ではどのチームよりも本当の意味でハンドボールを楽しんで一日一日を戦ってきます。応援してくれるすべての方に感謝して、必ず良い報告ができるようにします。応援よろしくお願いします。

「最後は意地だ！」

男子ハンドボール部主将 部長 松井大夢

男子ハンドボール部は、8月4日より熊本県で開催されるインターハイに出場します。「最後は意地だ」のスローガンのもと自分たちのスタイルである「守って速攻」を武器に最後まで全力で戦ってきます。そして、今まで支えてくれた全ての人に結果で恩返しできるように部員22名全員で精一杯頑張ってきます。応援よろしくお願いします。



「インターハイに向けて」

女子ハンドボール部 顧問 松井翼

昨年のインターハイでは富岡高校女子として初出場し、結果はベスト8。先輩たちの悔し涙を同じコートで見てきた子たちが今のチームにはたくさんいます。新チームになってから思うようにいかない日々の連続でした。怪我やメンタル面、全国大会でも5年ぶりの1回戦負け。しかしその悔しさ、先輩たちの涙を糧に3年生たちは頑張り続けてきました。後輩たちも本当によくサポートしてくれました。最後の勝負、やっとチームが1つになりました。監督として根拠はありませんが、自信があります。奇跡が起こる予感がしています。選手たちを信じて、胴上げされることを期待したいと思います。

「インターハイへの意気込み」

女子ハンドボール部 宮本夏歩

私たちは、目標として掲げてきた「全国優勝」を成し遂げるために、日々練習してきました。一昨年、昨年と共にインターハイに出場しベスト8という結果で悔しい思いをした先輩方を見てきました。そんな先輩方の思いを胸に今年は私たちが全国優勝を成し遂げたいと思います。そして日頃から熱く指導して下さる先生方や支えて下さる方々に結果で恩返しをするため、伝統としてきた「守って速攻」で勝ち進んでいきます。

「さが総文に向けて」

囲碁将棋部顧問 三浦昭久

真夏の熱い戦い＝文化部のインターハイである“さが総文”の将棋部門に、3年4組の寺田百花さんが出場します。県大会で団体・個人ともに準優勝し、堂々の全国大会出場です。将棋の道を追求してきて、クライマックスに最高の場面が来ました。実力で勝ち取ったこのチャンスで、さらに成長してほしいと思っています。

大会は、7月30日～31日に、佐賀県江北町の「佐賀のへそ・ふれあい交流センター ネイブル」で行われます。

「全国大会に向けて」

囲碁将棋部 3年4組 寺田百花

私は、7月30、31日に佐賀県で行われる全国大会に出場します。

前回の全国大会では、五戦あるうち一勝しかできなくてとても悔しい思いをしました。それからは、今まで以上に感想戦を徹底して日々の練習に取り組むよう努めました。この大会が私にとって本当に最後の大会なので、悔いのないような戦いをしたいと思います。また、普段からお世話になっている先生たちや部活の皆に感謝して、群馬県の代表として恥ずかしくないように戦ってきます。

